

# 第7回 ヨウ素利用研究国際シンポジウム

## プログラム

日 時 : 平成16年11月5日(金) 9:30 ~ 17:20

場 所 : 千葉大学けやき会館

主 催 : ヨウ素利用研究会、千葉大学

共 催 : (社)日本化学会、日本ヨード工業会

協 賛 : (社)日本薬学会、(社)有機合成化学協会、日本ヨード懇話会、  
(財)千葉県産業振興センター、千葉工業大学技術・情報センター

### < 部 ~ 部:講演 > 1F大ホール

No.	予定時間	分類	講演テーマ	研究発表者	所属団体
	9:30 ~ 9:35	挨拶	小倉 克之 (ヨウ素利用研究会会長、千葉大学教授)		
部: (座長:横山 正孝)					
	9:35 ~ 10:25	招待講演	ヨウ素を利用する有機フッ素化合物合成法の最近の進歩	米田徳彦	北海道大学
部 (座長:小倉 克之)					
	10:25 ~ 10:40	一般講演	アルキルヨードニウム塩を用いるベンゾトリアゾールの位置選択的アルキル化反応	北村二雄	佐賀大学理工学部
	10:40 ~ 10:55	一般講演	東大MALTにおける <sup>129</sup> I-AMSシステムの開発 環境影響評価ツールとして	松崎浩之	東京大学原子力研究 総合センター
	10:55 ~ 11:10	一般講演	ヨウ素で処理したアルミめっき鋼板の潤滑性及び抗菌性	高谷松文	千葉工業大学工学部
部: (座長:小松 満男)					
	11:10 ~ 12:00	招待講演	Iodination Reactions: A Convenient Approach to Trigger Synthetic Transformations	Jose Manuel Gonzalez Diaz	スペイン:オビエド大学

### < 部:ポスターセッション > 3Fレセプションホール

*時 間 ; 展示 12:10 ~ 14:20.....発表と質疑(13:00 ~ 14:20)			
A	一般	発表件数 14件	物理化学、有機反応理論、分析化学、触媒化学、分子生物学等 資源、環境、エネルギー、エンジニアリング、プロセッシング等 利用、応用、実用品の開発と製品紹介(医薬品、殺菌消毒剤等)
W	FIU ワーキンググループ	発表件数 8件	生物圏におけるヨウ素の働きとその循環機構
併設展示		ヨウ素製品等の展示、ヨウ素分析機器等の展示 (3F会議室、時間; 随時)	

### < 部 ~ 部:講演 > 1F大ホール

No.	予定時間	分類	講演テーマ	研究発表者	所属団体
部: (座長:佐久間 昭)					
	14:30 ~ 15:20	招待講演	色素増感太陽電池の実用化に向けたヨウ素の重要性	早瀬修二	九州工業大学大学院 生命体工学研究科
部: (座長:柳澤 章)					
	15:20 ~ 15:35	一般講演	<i>t</i> -BuOCl-NaI系を用いる <i>N</i> -アルケニルアミドからの立体選択的ヘテロ環化	南方聖司	大阪大学大学院 工学研究科
	15:35 ~ 15:50	一般講演	ヨウ素を触媒とした3-ヒドロキシ酸のラクトン化	藤田 力	千葉大学工学部
	15:50 ~ 16:05	一般講演	創傷治療剤としてのカデキソマーヨウ素製剤	長田博之	鳥居薬品株式会社
部: (座長:落合正仁)					
	16:05 ~ 17:05	特別講演	Polyvalent Iodine Chemistry; an Overview and	Peter J.Stang	米:コタ大学

各公演時間は、質疑応答の時間5分を含みます。

ポスター発表(一般講演)プログラム <一般A, FIU ワーキンググループW>

発表と質疑は前半 13:00 ~ 奇数番号、後半 13:40 ~ 偶数番号

No.	発表タイトル	発表者・研究者	所属団体
A01	ヨウ素を含有する千葉県産海藻成分の探索	石橋正己、山本俊輔、寺町文宏、當銘一文、佐藤昌昭、宮田昌彦 <sup>†</sup>	千葉大院・薬、千葉県中央博 <sup>†</sup>
A02	トリフェニルアミン誘導体とヨウ素との電荷移動錯体の合成と物性	長尾幸徳、斎藤健志、小澤幸三	東京理大・理工
A03	高活性ヨードシルベンゼン錯体の合成とその反応	宮本和範、横田幸恵、落合正仁	徳島大・薬
A04	高分子型超原子価ヨウ素試剤 - TEMPO系によるアルコールの酸化反応	田篠陽介、東郷秀雄	千葉大院・自然、千葉大・理
A05	単体ヨウ素を用いたアルコールの効率的酸化反応	森 直土、東郷秀雄	千葉大院・自然、千葉大・理
A06	超原子価ヨウ素化合物を用いる <i>N</i> -アルケニルスルホンアミド類の分子内環化反応	角田広子、桐原正之	富山医薬大・医、静岡理工大・理工
A07	キシログルカン-ヨウ素複合体の物理化学的特性に及ぼす側鎖の影響	藤原孝之、長澤久美子、内田勝美、矢島博文、湯口宜明 <sup>†</sup> 、白川真由美 <sup>††</sup>	東京理大・理、産総研 <sup>†</sup> 、大日本製薬株 <sup>††</sup>
A08	側鎖修飾キトサン・ヨウ素錯体の物理化学的性質とその抗菌活性評価	青野敬至、平川亮太、内田勝美、矢島博文、指輪仁之 <sup>†</sup>	東京理大・理、金淵化学 <sup>†</sup>
A09	放射光を用いたヨウ素129のメスバウアー分光	北尾真司、瀬戸誠、小林康浩、依田芳卓 <sup>1</sup> 、三井隆也 <sup>2</sup> 、春木理恵 <sup>3</sup> 、岸本俊二 <sup>3</sup>	京大原子炉、高輝度光科学セ <sup>1</sup> 、原放射光 <sup>2</sup> 、高工研物構研 <sup>3</sup>
A10	1-アセトキシ-1-アリール-4-メチルチオ-2-トシル-1,3-ブタジエンを用いたヨウ素による位置選択的トシル置換ナフトール合成	松本祥治、奈良慶一、小倉克之	千葉大・工
A11	超原子価ヨウ素試薬を用いる環状エーテル類の環拡大アセトキシ化反応	仙北久典、安保知仁、澤口正紀、原正治	北大院・工
A12	XAFSとMDによるヨウ素 - シクロデキストリン包接体の構造解析	金子拓真、小西健久、藤川高志	千葉大院・自然
A13	チタン酸カリウムに担持した銀の沃素吸着について	江澤晴雄、伊藤雅彦	合同資源産業株式会社
A14	シクロデキストリン - ヨウ素包接体(CDI)の用途開発	四日洋和、田口信洋、前田暁男、鈴木久之、鈴木康雄	日宝化学株式会社
A15	超原子価ヨウ素試薬を用いるチオフェン類の新規酸化的官能基化反応	土肥寿文、森本功治、清野頼人、当麻博文、北 泰行	阪大院・薬
A16	新規非ポリマー担持型リサイクル超原子価ヨウ素試薬の開発	土肥寿文、丸山明伸、吉村美咲、森本功治、当麻博文、北 泰行	阪大院・薬
W01	環境中のヨウ素の化学形態に関する基礎的研究	加藤翔太、吉田聡 <sup>†</sup> 、関本均	宇都宮大・農、放医研 <sup>†</sup>
W02	海洋環境からのヨウ素酸還元細菌の単離	土屋聡志、天知誠吾、藤井貴明	千葉大院・自然科学
W03	細菌の有するヨウ素酸化酵素の精製とその諸性質の検討	吉木さや香、木村功、天知誠吾、藤井貴明	千葉大院・自然科学
W04	土壌中からハツカダイコンへの放射性ヨウ素の生育段階別濃度比	坂内忠明、村松康行 <sup>†</sup>	放医研・比較環境影響、学習院大・理 <sup>†</sup>
W05	降水・灌漑水・土壌水中ヨウ素の季節変動からみた土壌蓄積性と浸透性 - 筑波台地上の林地・畑地・水田の事例 -	結田康一、木方展治 <sup>1</sup> 、市橋秀樹 <sup>2</sup> 、藪崎志穂 <sup>3</sup> 、藤原英司 <sup>1</sup>	元農水省農環研、農環研 <sup>1</sup> 、瀬戸内海水研 <sup>2</sup> 、筑波大 <sup>3</sup>
W06	北海道の河川水ヨウ素の濃度分布	木方展治、藤原英司、結田康一 <sup>†</sup>	農環研、元農水省農環研 <sup>†</sup>
W07	ヨウ素を用いた培養液殺菌技術の開発に関する研究	小粥理絵、福岡真里、丸尾達、雨宮良幹、篠原温、山口秀幸 <sup>†</sup>	千葉大・園芸、関東天然瓦斯開発株 <sup>†</sup>
W08	ウクライナ食品中のヨウ素濃度	幸 進、白石久仁雄、S. K. サワー、村松康行 <sup>†</sup> 、V. N. コルズン <sup>††</sup> 、I. P. ロス <sup>†</sup> 、N. Y. ツイガンコーフ <sup>††</sup> 、P. V. ザモスチャン <sup>††</sup>	放医研、学習院大院・化学 <sup>†</sup> 、ウクライナ放射線医学科学研 <sup>††</sup>

17:20 ~ 19:00	懇親会 (けやき会館3Fレセプションホール)
---------------	------------------------